R5年 たんぽぽぐみ ドキュメンテーション 「自分で」

保育者が「靴下を脱ごうね」と誘うと自分で靴下を引っ張って脱ぐ姿が見られた。

＜考察＞

たんぽぽぐみの月齢の高い子たちは、保育者の誘いに自分でしようとすることが増えてきている。保育者が日常生活の中で何かをする前に「～するよ」と言葉で伝えていくことで今から何をするのかが分かってくること、自我が芽生えた時期に自分でやってみようとすることにつながっていくことを感じた。これからも生活の中で子どもたちが分かりやすい言葉で伝えながら保育をしていきたい。